

令和4年度 学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>① 事故発生時の対応や感染症拡大防止を徹底するなど、安心・安全な学校づくりに努める。 ② ICT機器の活用を進めるなど、一人一人に応じた教育の充実を図る。</p>		
<p>担当</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>総務部</p>	<p>・「SDGs (Sustainable Development Goals[持続可能な開発目標])」を意識して、学校環境を整備する。</p>	<p>・「SDGs」の目標に対して、昨年度から引き継いだ「4つの取組」を、学校だよりや校内掲示などを工夫して積極的に情報発信し、児童生徒、保護者、教職員が協力や協調をして、学習や生活をしやすい学校及び教室環境の整備を進める。</p>	<p>・4つの取組(※)を児童生徒や保護者、教職員が意識できるように環境整備を進める。特に、各部や各校務分掌と連携して取り組んでいく。</p> <p>(※)4つの取組 ①水(水道水)の無駄遣いを減らす。 ②給食残飯や廃棄食材を減らす。 ③電気の無駄遣いを減らす。 ④紙(コピー紙等)の有効利用を心掛ける。</p>
<p>教務部</p>	<p>・45分授業の実施に伴い、児童生徒の実態をしっかり把握し、改善点を探っていく。 ・ICT機器(パソコン、タブレット、大型テレビなど)を活用した教育を充実する。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら授業を実施する。</p>	<p>・各部の実情を部会や学年会を中心に改善案を考えていく。 ・パソコンやタブレット、大型テレビ等を活用した授業展開を充実させていく。 ・日頃から「三密」を回避するよう対策を講じるようにする。</p>	<p>・45分授業については、児童生徒の実態に合わせて、必要に応じて柔軟に運用する。 ・ICT機器を活用して収集した情報を活用する力を伸ばせるよう、教職員が研修する機会を設ける。 ・ICT機器を活用することで、ITスキルを身に付けられるようにする。 ・研修内容を可視化するなどして、担当の教職員だけでなく、学校全体で活用に関する情報を共有できるようにする。 ・授業や行事等で使用する教室について、使用状況を教職員が常に意識できるよう工夫する。</p>
<p>生徒指導部</p>	<p>・安全な通学環境を整備する。 ・基本的な生活習慣の定着を図る。 ・いじめの未然防止と早期発見に向けて、組織的な対応を行う。</p>	<p>・スクールバスの運行経路の補正とタイヤの調整を行う。 ・交通安全に対する意識の向上を図る。 ・ICT機器や掲示板を活用して、生活目標の啓発や挨拶に対する意識の向上を図る。 ・学校生活に対する聴き取りや情報収集を行い、未然防止や早期発見に努める。 ・いじめ不登校等対策委員会でいじめに関する情報を共有し、対処の方法を検討する。</p>	<p>・児童生徒や保護者に混乱が生じないよう、添乗員と密に情報交換を図り、必要に応じてタイヤ等の修正を行う。 ・地域との連携を強化し、発達段階に合わせた交通安全教室を計画する。 ・児童生徒に分かりやすく伝えることができるようなICT機器の使い方や掲示方法について、情報教育部と連携を図りながら進めていく。 ・日常生活を通して、学年や所属部を中心に、いじめの有無やいじめが起きにくい雰囲気作りを意識して指導に当たることを教職員間で周知する。 ・いじめが発見された場合やいじめの相談を受けた場合は、すぐに校内組織に報告することを教職員間で周知徹底する。</p>

<p>進路指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明用資料の充実を図る。 ・キャリアパスポートの書式を作成する。 ・実習の評価表の書式を検討し、適切な評価ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任のニーズを把握して、必要な内容を作成する。（就職するために必要な力、障害福祉サービスの説明、障害福祉サービスの選び方など） ・稲沢市の書式やサポートブックを参考にし、教務部とも連携をして作成する。 ・就労アセスメントシートを参考にし、必要な項目をピックアップする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任が、説明が難しい内容を保護者に分かりやすく示すことができるようにする。 ・キャリア教育全体計画を参考にし、 ・教務部と連携（個別の教育支援計画への記載など）をする。 ・実習で評価したい内容を厳選する。 ・各項目に対する評価段階を少なく（４段階程度に）して、評価しやすくする。（現在は７段階）
<p>保健体育部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導の充実を図り、安心・安全な学校づくりを目指す。 ・食育指導の充実を図る。 ・事故発生時の早期対応や環境整備により、学校の安全を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策について、児童生徒、保護者、教職員へ適宜情報提供などを行い、校内の安全を保てるようにする。 ・肥満指導に重点を置き、適切な保健指導の充実を図る。 ・関係職員などと連携しながら食に関する全体指導計画や教材を使用するなどして、個に応じた食に関する指導を充実させる。 ・事故発生時の対応を共有し、改善しながら早期対応、早期発見を目指す。 ・校内環境を整え、学校安全に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策についてのマニュアルを軸としながらも、必要に応じた見直しや情報提供を継続して行う。 ・関係教職員が中心となり、家庭や担任、学年と連携を図りながら、必要に応じて児童生徒への保健指導や教職員への研修などを行う ・保健や教科担当などと連携を図り、個に応じたニーズを基に食育指導の充実を図ることができるようにする。 ・事故発生時や訓練時に出た反省をすぐに改善、応用する体制を引き続き構築し、状況に応じた対応を早期に行えるようにする。 ・校内の安全点検、環境美化を充実させ、早期に改善、対応できるようにする。
<p>教育支援部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関に特別支援教育に関する知識、情報を提供する。 ・児童生徒及び教職員への校内支援の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校のホームページの「ふれあい通信」の充実を図る。 ・充実したニーズのある研修会を実施する。 ・巡回、指導検討会のためのケース会を行う。 ・「支援部だより」「支援グッズ」の見直しを行う。 ・現職研修、ケース検討会を行い、校内支援を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の支援部だよりを整理し、ホームページに掲載する。 ・夏季研修会では、感染対策を十分に行い、教材・教具の紹介をする。 ・昨年同様、巡回相談等に使用している「支援シート」を使って、検討会を行い、支援について検討をする。 ・「支援部だより」「支援グッズ」を整理し、教職員が活用しやすくする。 ・夏季研修会、現職研修会等の動画を撮り、研修会後に教職員が視聴できるようにする。

<p>情報教育部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器およびネットワーク上のデータの安全な運用に努める。 ・ICTを効果的に活用した実践の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の重要度に応じて適切な場所に情報を保存するように職員に周知する。 ・教職員向けにネットワークを活用した実践の紹介や研修会を開き、ICTを活用できるようにする。 ・児童生徒が主体的にICT機器を活用することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド上で扱う情報も重度に応じて適切に扱う。個人情報やクラウド上に保存しないよう特に留意する。 ・積極的にオンラインでコミュニケーションを行うサービスやネットワークアプリを導入する。 ・児童生徒がICT機器を実態に応じて安全に活用することができる環境を構築する。
<p>図書部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の環境の充実を図る。 ・児童生徒の読書活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の利用方法や図書の紹介について改善と充実を図り、児童生徒や職員が安心して安全に利用できるように図書室環境を整える。 ・図書委員会活動や読書週間等の取組を通して、ICT機器を活用した読書活動及び学習活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室利用オリエンテーションの取組を周知し、全校児童生徒の図書室利用を促すとともに、興味を持って本を手にとれるように配架や掲示を工夫する。 ・授業で扱う題材に関連する内容の図書や映像資料の充実を図る。 ・図書委員会活動で写真や動画等を利用して、図書室の利用方法や図書の紹介を行う。 ・読書週間では図書室内にコーナーを特設し、大型テレビで図書室の使い方や取組内容の紹介映像を見たり、対象図書を閲覧したりできるようにする。
<p>研修部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の専門性の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修では、教職員の興味や関心、必要性の高い内容を選んで計画する。 ・研究では、社会科、理科、生活科の内容を取り入れた生活単元学習の指導について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員から要望を聞いたり、他の校務分掌と協力したりして研修の内容を設定し、専門性を高める機会としていく。 ・情報教育部と連携して、ICT機器の授業への活用方法についての研修会を設定する。 ・研究の目的や内容を明確にして教職員の共通理解を図った上で、円滑に取り組めるようにしていく。 ・昨年度の研究で作成した「指導内容表（例）」を参考に進めていく。 ・教務主任と連携し、研究を進めていく。
<p>自立活動部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動に関する情報提供を進める。 ・自立活動室を整備し安全な指導ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動に関する研修会、相談会を実施したり、学校ホームページに自立活動に関する参考資料を掲載したりして、校内や地域へ情報を発信していく。 ・自立活動室を使用する際の留意事項をまとめたり、教材・教具の管理や貸し出し方法を周知したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の専門性の高い教職員と連携し、研修会、書籍、参考資料等の情報提供を定期的に行う。 ・情報教育部や地域支援部と連携し、学校ホームページを利用して地域への情報発信ができるようにしていく。 ・自立活動室が変更したため、教室使用上の留意箇所を確認する。 ・自立活動以外の授業での使用もできるよう、関係する校務分掌と連携して円滑に授業ができるようにしていく。